

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1506
調整後保管日時				2017/12/25 9:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月19日		(火)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)									
	発生場所	1号機北西ヤード・中継ヤード / 物揚場 / 第2地組ヤード				2017/12/11	2017/12/11	2017/12/11			
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/8	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	不燃物:金属ガラ	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2	不燃物:不燃物その他(バッテリー)	B	10	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
3	不燃物:不燃物その他(タイヤ(ホイール付))	B	10	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
メモ	不燃 1)不燃物瓦礫荷下: 所属の7tトラックを予定しています。 2)金属ガラ内訳:ワイヤー・鋼材・スプレー空缶・ボルト・溶接棒										

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物:金属ガラ②	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2017/12/25 8:50	5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	不燃物:不燃物その他(バッテリー)⑥	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2017/12/25 8:50	0.1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	不燃物:不燃物その他(タイヤ(ホイール付))③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2017/12/25 8:50	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013101 - 0002						
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2017年12月19日		(火)		9:30		承認	審査	作成					
	作業件名		構内排水路清掃業務委託(毎年度)													
	発生場所		A系排水路						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12					
	作業主管G		土木保全・総括グループ				監理員		TEL							
	元請会社						担当者		TEL							
	線量測定年月日		2017/11/15		測定者		測定器名		ICW		管理番号 F1-ICWBL-133					
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	土砂類		B	04	W	A	2	m <sup>3</sup>	0.01	mSv/h	0.1	mSv/h	$\beta$ 有	0.15	mSv/h
	2								m <sup>3</sup>							
	3								m <sup>3</sup>							
4								m <sup>3</sup>								
5								m <sup>3</sup>								
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。																

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1510
				2017/12/13
調整後保管日時		2017年12月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容									
測定日	2017年12月26日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICWBL	F1-ICWBL-55						
2									
3									
4									

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類	5	$\mu$ Sv/h	100	$\mu$ Sv/h	120	$\mu$ Sv/h	エリアX	2017/12/26 8:55	2	m <sup>3</sup>			1
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メ モ																

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013101 - 0002		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月19日		(火)	13:00		承認	審査	作成			
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(毎年度)										
	発生場所	A系排水路						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/11		
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/28		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-133	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	土砂類			B	04	W	A	7 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	無
	2								m <sup>3</sup>			
	3								m <sup>3</sup>			
4								m <sup>3</sup>				
5								m <sup>3</sup>				
メ モ	不燃											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2017	—	12	—	1511	2017/12/13
調整後保管日時		2017年12月26日		8:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類 ⑩	5	$\mu$ Sv/h	25	$\mu$ Sv/h			エリアC	2017/12/26 8:00	7	m <sup>3</sup>			1
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
														m <sup>3</sup>		

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0012

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月22日		(金)	12:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機サブドレン保守点検									
	発生場所	4号機R/B西側						2017/12/13	2017/12/13	2017/12/7	
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/1	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-127		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	ポリ・ビニール	A	02	D	B	4 m <sup>2</sup>	8 μSv/h	8 μSv/h	無	
	2	木	A	03	D	B	1 m <sup>2</sup>	8 μSv/h	8 μSv/h	無	
3	ゴム類	C	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	8 μSv/h	8 μSv/h	無		
4	難燃シート	C	02	D	B	2 m <sup>2</sup>	8 μSv/h	8 μSv/h	無		
5	金属ガラ	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>	8 μSv/h	8 μSv/h	無		

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1512
				2017/12/13
調整後保管日時		2017年12月25日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	木	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 11:15	1 m <sup>2</sup>			2
	4	1	難燃シート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 11:15	0.5 m <sup>2</sup>			2
	5	1	金属ガラ②	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2017/12/25 11:40	5 m <sup>2</sup>			1
	6	1	金属ガラ②	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2017/12/25 11:40	3 m <sup>2</sup>			1
	7	1	金属ガラ(マンホール蓋)	5 μSv/h	100 μSv/h	400 μSv/h	エリアX	2017/12/25 11:40	0.2 m <sup>2</sup>			1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	
			①	②	③							
	6	金属ガラ	B	01	D	B	3 m <sup>2</sup>	8 $\mu$ Sv/h	8 $\mu$ Sv/h	無		
	7	金属ガラ(マンホール蓋)	B	01	D	A	0.2 m <sup>2</sup>	8 $\mu$ Sv/h	0.8 mSv/h	$\beta$ 有	0.5	mSv/h
	8	金属ガラ(マンホール蓋)	B	01	D	A	0.6 m <sup>2</sup>	8 $\mu$ Sv/h	0.01 mSv/h	$\beta$ 有	0.5	mSv/h
	9						m <sup>2</sup>					
	10						m <sup>2</sup>					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2017	—	12	—	1512

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	8	1	金属ガラ(マンホール蓋)	5	$\mu$ Sv/h	40	$\mu$ Sv/h	300	$\mu$ Sv/h	エリアX	2017/12/25 11:40	0.6	m <sup>2</sup>			1
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥 W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0016

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1513
				2017/12/13
調整後保管日時		2017年12月25日		11:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	サブドレン強化対策工事(旧名称:1~4号機サブドレン改造工事)									
	発生場所	4号機R/B西側					2017/12/13	2017/12/13	2017/12/6		
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/1		測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-127	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③							
	1	ヌレキムタオル、ヌレウエス	A	01	W	B	2 m <sup>2</sup>	8 μSv/h	8 μSv/h	無	
	2	紙	A	01	D	B	3 m <sup>2</sup>	8 μSv/h	8 μSv/h	無	
3	ポリ・ビニール	A	02	D	B	4 m <sup>2</sup>	8 μSv/h	8 μSv/h	無		
4	木	A	03	D	B	1 m <sup>2</sup>	8 μSv/h	8 μSv/h	無		
5						m <sup>2</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ヌレキムタオル、ヌレウエス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 11:15	1.2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	ポリ・ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 11:15	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	メ モ											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0053

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1515
				2017/12/13
調整後保管日時		2017年12月25日		11:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1～3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺					2017/12/13	2017/12/13	2017/12/13	
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/12	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-128		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	木材類	A	03	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.09 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
可燃 木材										

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2017/12/25 11:10	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	D	状 態	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
				D:乾燥, W:湿気有					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012602 - 0053			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2017年12月26日		(火)		9:30		承認	審査	作成		
	作業件名		1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成										
	発生場所		有床救護所エリア周辺							2017/12/13	2017/12/13	2017/12/13	
	作業主管G		建築総合工事グループ				監理員		TEL				
	元請会社						担当者		TEL				
	線量測定年月日		2017/12/12		測定者		測定器名		電離箱		管理番号 F1-ICW-128		
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類		A	02	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無		
	2							m <sup>3</sup>					
	3							m <sup>3</sup>					
4							m <sup>3</sup>						
5							m <sup>3</sup>						
可燃プラ													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1516
				2017/12/13
調整後保管日時		2017年12月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 9:10	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成									
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2017/12/13	2017/12/13	2017/12/13	
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/12	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-128	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ			B 01	D A	5 m <sup>2</sup>	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
	2	機器類・制御盤類			B 03	D A	2 m <sup>2</sup>	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
	3	不燃その他			B 10	D A	1 m <sup>2</sup>	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
不燃											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2017	—	12	—	1517	2017/12/13
調整後保管日時		2017年12月26日			11:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑧	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2017/12/26 11:05	5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	機器類・制御盤類⑧	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2017/12/26 11:05	2 m <sup>2</sup>			1
	3	1	不燃その他③	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2017/12/26 11:05	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010303 - 0019

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1519
				2017/12/13
調整後保管日時		2017年12月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	9:00		承認	審査	作成					
	作業件名	立入制限区域柵周辺フェーシング工事(1期)												
	発生場所	正門南東エリア(構外、旧展望台への道路周辺)					2017/12/13	2017/12/13	2017/12/13					
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員			TEL						
	元請会社				担当者			TEL						
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-134				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率					
		①	②	③										
	1	型枠材・桟木	A	03	D	B	3	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2							m <sup>2</sup>						
3							m <sup>2</sup>							
4							m <sup>2</sup>							
5							m <sup>2</sup>							
メモ	可燃													

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	型枠材・桟木	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 8:55	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	10:00		承認	審査	作成											
	作業件名	G2エリア雨樋移設工事																		
	発生場所	G2エリア					2017/12/12	2017/12/11	2017/12/11											
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL													
	元請会社					担当者	TEL													
	線量測定年月日	2017/12/4		測定者			測定器名	β・γ用電離箱												
	管理番号	F1-ICWBL-1																		
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	木材類	A						03	D	A	5	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2											m <sup>2</sup>							
		3											m <sup>2</sup>							
		4											m <sup>2</sup>							
5						m <sup>2</sup>														
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1520
				2017/12/13
調整後保管日時		2017年12月25日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 12:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月22日		(金)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G2エリア雨樋移設工事									
	発生場所	G2エリア						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/4	測定者			測定器名	β・γ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-1	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	紙・ウエス類		A	01	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類		A	02	W	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.012 mSv/h	無	
3	可燃物その他		A	04	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	ケーブル類		B	08	D	A	0.3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	不燃物その他		B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1522
				2017/12/13
調整後保管日時		2017年12月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		紙・ウエス類	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2017/12/26 9:35	0.2 m <sup>2</sup>			2
2	1		プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2017/12/26 9:35	0.5 m <sup>2</sup>			2
3	1		可燃物その他	2 μSv/h	29 μSv/h		エリアO	2017/12/26 9:35	0.5 m <sup>2</sup>			2
4	1		ケーブル類 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2017/12/26 9:45	0.3 m <sup>2</sup>			1
5	1		不燃物その他 ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2017/12/26 9:45	0.5 m <sup>2</sup>			1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6	土砂類	B	04	W	A	0.2	m <sup>3</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無
	7	土砂類	B	04	W	A	0.2	m <sup>3</sup>	0.01	mSv/h	0.012	mSv/h	$\beta$ 有
	8	ゴム類	C	01	D	A	0.5	m <sup>3</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無
	9	ゴム類	C	01	D	A	0.3	m <sup>3</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	$\beta$ 有
	10	難燃物その他	C	04	W	A	0.5	m <sup>3</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2017	—	12	—	1522

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	$\mu$ Sv/h	10	$\mu$ Sv/h	30	$\mu$ Sv/h						
	9	1	ゴム類							エリアX	2017/12/26 9:45	0.3	m <sup>3</sup>		1
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		
													m <sup>3</sup>		

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012908 - 0033

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月19日		(火)	12:30		承認	審査	作成			
	作業件名	通信機械室不要設備撤去										
	発生場所	1F 事務本館北交差点他						2017/12/12	2017/12/12	2017/12/12		
	作業主管G	通信システムグループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/6	測定者			測定器名	ICWサーベイメータ		管理番号	リ-ICW-289		
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③								
1	木材類	A	03	W	A	1.2 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無			
2	ケーブル類	B	08	W	A	0.5 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無			
3	土砂類	B	04	W	A	1.2 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無			
4						m <sup>3</sup>						
5						m <sup>3</sup>						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1523
				2017/12/14
調整後保管日時		2017年12月26日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2		ICW	F1-ICW-061	
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 11:50	1.2 m <sup>3</sup>			2
	2	1	ケーブル類 ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2017/12/26 11:40	0.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0009

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	構内フェーシング修繕工事(平成29年度)								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)				2017/12/13	2017/12/13	2017/12/13		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
G	線量測定年月日	2017/12/13	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-74	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	鉄クズ	B	01	W	B	1 m <sup>3</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2	塩化ビニール	B	05	W	B	0.3 m <sup>3</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無
入	3					m <sup>3</sup>				
	4					m <sup>3</sup>				
	5					m <sup>3</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1527
				2017/12/14
調整後保管日時		2017年12月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
メ モ	1	1	鉄クズ⑧	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2017/12/25 9:00	0.5	m <sup>3</sup>			1
	2	1	塩化ビニール	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2017/12/25 9:20	0.3	m <sup>3</sup>			2
													m <sup>3</sup>			
														m <sup>3</sup>		
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メ モ																

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フレンジタンク本体	12	フレンジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012911 - 0001			
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	12:30		承認	審査	作成				
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバ工事											
	発生場所	旧 棟 体操広場						2017/12/14	2017/12/14	2017/12/11			
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL						
	元請会社					担当者	TEL						
	線量測定年月日	2017/12/8		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-32		
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	パレット(プラスチック)		C	04	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
	2							m <sup>2</sup>					
	3							m <sup>2</sup>					
4							m <sup>2</sup>						
5							m <sup>2</sup>						
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2017/12/14
廃2017	—	12	—	1528	
調整後保管日時		2017年12月26日			12:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パレット(プラスチック)(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/26 12:30	6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	旧 棟 体操広場						2017/12/14	2017/12/14	2017/12/11
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/8		測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-32
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
	1	パレット(木材)				10 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	枕木、木片(木材)				1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3					m <sup>2</sup>				
	4					m <sup>2</sup>				
	5					m <sup>2</sup>				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1531
				2017/12/14
調整後保管日時		2017年12月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				
木材類は一旦Cヤードにて受付、指示された場所に保管願います。				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パレット(木材)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 8:00	4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	枕木、木片(木材)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 8:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0016

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1533
				2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月25日		12:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	サブドレン強化対策工事(旧名称:1~4号機サブドレン改造工事)									
	発生場所	GK-25(SD214)				2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14			
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/14	測定者			測定器名	IWC	管理番号	F1-IWC-154		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	土砂類	B	04	D	A	7 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
	3	可燃物その他	A	04	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2017/12/25 12:55	1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2017/12/25 12:55	4.8 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0016

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	サブドレン強化対策工事(旧名称:1~4号機サブドレン改造工事)								
	発生場所	GK-25(SD214)					2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14	
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/14	測定者			測定器名	IWC	管理番号	F1-IWC-154	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
2	難燃物その他	C	04	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
3	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
4	木材類	A	03	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
5	金属ガラ	B	01	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1534
				2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月25日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	3	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	8 μSv/h		エリアC	2017/12/25 13:00	3 m <sup>2</sup>			1
	4	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 12:00	1 m <sup>2</sup>			2
	5	1	金属ガラ②	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2017/12/25 13:00	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013202 - 0001	
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月26日			(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)									
	発生場所	1号機北西ヤード・中継ヤード / 物揚場 / 第2地組ヤード					2017/12/13	2017/12/13	2017/12/13		
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2017/12/12	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-49			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	不燃物:不燃物その他(防災シート)	B	10	W	B	3 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2	不燃物:不燃物その他(不燃シート)	B	10	W	B	1 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	3	不燃物:不燃物その他(安全靴・安全帯)	B	10	W	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	4	不燃物:機器類(手動散布機)	B	03	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	5	不燃物:ケーブル類	B	08	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	※ 不燃物は透明袋に収納して結束しているために結露で湿気があります。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2017	—	12	—	1537	2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月26日			11:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物:不燃物その他(防災シート)③	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2017/12/26 11:00	3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	不燃物:不燃物その他(不燃シート)③	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2017/12/26 11:00	1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	不燃物:不燃物その他(安全靴・安全帯)③	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2017/12/26 11:00	0.1 m <sup>2</sup>			1
	5	1	不燃物:ケーブル類 ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2017/12/26 11:00	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013202 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)									
	発生場所	1号機北西ヤード・中継ヤード / 物揚場 / 第2地組ヤード					2017/12/13	2017/12/13	2017/12/13		
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/12	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-49			
メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	難燃物:ゴム類	C	01	W	B	0.3 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2	難燃物:難燃物その他	A	04	W	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	3	可燃物:プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	3 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
※ 可燃物は透明袋に収納して結束しているために結露で湿気があります。 ※ 難燃物その他内訳:エフレックス、CD管、その他											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2017	—	12	—	1539
				2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	難燃物:難燃物その他	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 8:10	1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物:プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 8:10	1.3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1543
				2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成									
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14	
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-128		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	機器類・制御盤類		B	03	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
	2							m <sup>2</sup>			
	3							m <sup>2</sup>			
4							m <sup>2</sup>				
5							m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類 ⑧	5 μSv/h	10 μSv/h		エリアC	2017/12/25 10:40	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	11:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1～3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成									
	発生場所	有床救護所エリア周辺					2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14		
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-128		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	ケーブル類		B	08	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類		A	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
3							m <sup>2</sup>				
4							m <sup>2</sup>				
5							m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2017	—	12	—	1544
				2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月25日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル類 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2017/12/25 11:00	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	12 μSv/h		エリアO	2017/12/25 11:05	5 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012602 - 0053		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	12:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成										
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14		
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/13		測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-128	
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	塩化ビニール類				B 05	D A	1 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類				A 02	D A	5 m <sup>3</sup>	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
	3							m <sup>3</sup>				
4							m <sup>3</sup>					
5							m <sup>3</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					2017/12/15
廃2017	—	12	—	1545	
調整後保管日時		2017年12月26日			12:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		塩化ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 12:00	1.2 m <sup>3</sup>			1
2	1		プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 12:00	4.2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業主管理	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	13:00		承認	審査	作成													
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成																				
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14												
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL															
	元請会社					担当者	TEL															
G記入欄	線量測定年月日	2017/12/13		測定者			電離箱	管理番号	F1-ICW-128													
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																		
		1	難燃物その他	C								04	D	A	2	m <sup>2</sup>	0.05	mSv/h	0.12	mSv/h	無	
		2																				
3																						
4																						
5																						
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。																					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1546
				2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月26日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他	5 $\mu$ Sv/h	150 $\mu$ Sv/h		エリアX	2017/12/26 13:00	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0032

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1547
				2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	G6タンクエリア				2017/12/13	2017/12/13	2017/12/13			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2017/10/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-50			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	紙・ウエス	A	01	W	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.8 mSv/h
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	A	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	1.6 mSv/h
	3	可燃物その他	A	04	W	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	2.5 mSv/h
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス	5 μSv/h	5 μSv/h	650 μSv/h	エリアX	2017/12/26 9:35	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 μSv/h	10 μSv/h	200 μSv/h	エリアX	2017/12/26 9:35	3 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他	5 μSv/h	5 μSv/h	300 μSv/h	エリアX	2017/12/26 9:35	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0032

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	9:30		承認	審査	作成					
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事												
	発生場所	G6タンクエリア					2017/12/13	2017/12/13	2017/12/13					
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL							
	元請会社					担当者	TEL							
	線量測定年月日	2017/10/13	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-50				
	No.	保管物名				※カテゴリ	①	②	③	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	金属ガラ				B	01	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	1.3 mSv/h
2	金属ガラ				B	01	D	A	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
3	不燃物その他				B	10	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.2 mSv/h	
4	ケーブル類				B	08	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5	難燃シート類				C	02	D	A	0.1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1548
				2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	10 μSv/h	1.1 mSv/h	エリアX	2017/12/25 9:35	1 m <sup>2</sup>			1
	1	2	金属ガラ	5 μSv/h	10 μSv/h	1.1 mSv/h	エリアX	2017/12/25 9:35	1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	不燃物その他	5 μSv/h	8 μSv/h	160 μSv/h	エリアX	2017/12/25 9:35	2 m <sup>2</sup>			1
	5	1	難燃シート類	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2017/12/25 9:25	0.2 m <sup>2</sup>			2
	6	1	難燃物その他	5 μSv/h	7 μSv/h	400 μSv/h	エリアX	2017/12/25 9:35	1 m <sup>2</sup>			1
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②	③									
	6	難燃物その他	C	04	D	A	1	m <sup>3</sup>	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	$\beta$ 有	0.6	mSv/h
	7						m <sup>3</sup>								
	8						m <sup>3</sup>								
	9						m <sup>3</sup>								
	10						m <sup>3</sup>								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2017	—	12	—	1548

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013201 - 0001		
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事										
	発生場所	BCヤード						2017/12/15	2017/12/15	2017/12/15		
	作業主管G	3号機建築グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/12	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-361		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	紙・ウエス類			A 01	D B	0.5 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無		
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02	D B	0.5 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無		
	3	木材類			A 03	D B	2 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無		
	4	可燃物その他			A 04	D B	0.5 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無		
	5	金属がら			B 01	D B	2 m <sup>2</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無		
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 ※ 7. 不燃物その他: 袋付きコンクリート有り											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2017	—	12	—	1549	2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月26日		11:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 $\mu$ Sv/h	6 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 11:05	0.5 m <sup>2</sup>			2
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 11:05	0.6 m <sup>2</sup>			2
	3	1	木材類	2 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 11:05	2 m <sup>2</sup>			2
	4	1	可燃物その他	2 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 11:05	0.5 m <sup>2</sup>			2
	5	1	金属がら ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2017/12/26 11:25	2 m <sup>2</sup>			1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6	機器類	B	03	D	0.3 m <sup>3</sup>	0.06	mSv/h	0.06	mSv/h	無		
	7	不燃物その他	B	10	D	2.3 m <sup>3</sup>	0.06	mSv/h	0.06	mSv/h	無		
	8	難燃物シート類	C	02	D	0.5 m <sup>3</sup>	0.06	mSv/h	0.06	mSv/h	無		
	9	ホース類	C	03	D	0.5 m <sup>3</sup>	0.06	mSv/h	0.06	mSv/h	無		
	10	難燃物その他	C	04	D	3 m <sup>3</sup>	0.06	mSv/h	0.06	mSv/h	無		

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2017	—	12	—	1549

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	機器類 ③	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2017/12/26 11:25	0.3	m <sup>3</sup>			1
	7	1	不燃物その他 ③	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2017/12/26 11:25	2.3	m <sup>3</sup>			1
	8	1	難燃物シート類	2	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h			エリアO	2017/12/26 11:05	0.02	m <sup>3</sup>			2
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	06 塩化ビニール類
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	11 不燃物その他
	C 難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	16 —
		01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	06 —
	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	06 —
		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	06 —

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013201 - 0001		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事										
	発生場所	BCヤード						2017/12/13	2017/12/13	2017/12/13		
	作業主管G	3号機建築グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/12	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-361		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	難燃物その他			C	04	D	B	4 m <sup>3</sup>	0.06 mSv/h	0.06 mSv/h	無
	2								m <sup>3</sup>			
	3								m <sup>3</sup>			
4								m <sup>3</sup>				
5								m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2017/12/15
廃2017	—	12	— 1550	
調整後保管日時		2017年12月26日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-120	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h					4	m <sup>3</sup>			
	1	1	難燃物その他 (→H)	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2017/12/26 11:10	4	m <sup>3</sup>			1
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	12:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F1～4号機地下水バイパス揚水井清掃業務委託									
	発生場所	地下水バイパスエリア GM-24 南東					2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14		
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/30		測定者			測定器名	電離箱			
							管理番号	F1-ICW-056			
No.	保管物名			※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③							
1	缶、油受け	B	01	D	B	2 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
2	ブルーシートなど	A	02	W	B	2 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
3	コーンなど	A	02	D	B	4 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
4	カラーコーン錘	B	10	D	B	1 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
5	ロープなど	A	01	W	B	1 m <sup>3</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1553
				2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月25日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	缶、油受け②	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2017/12/25 12:25	1.5 m <sup>3</sup>			1
	2	1	ブルーシートなど	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 11:40	2.8 m <sup>3</sup>			2
	3	1	コーンなど(→H)	2 μSv/h	3 μSv/h		エリアO	2017/12/25 11:40	1.5 m <sup>3</sup>			2
	5	1	ロープなど	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 11:40	0.05 m <sup>3</sup>			2
	6	1	段ボールなど	2 μSv/h	10 μSv/h		エリアO	2017/12/25 11:40	1.8 m <sup>3</sup>			2
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。



## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2017	—	12	—	1553

[illegible]

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012319 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務								
	発生場所	環境管理棟					2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14	
	作業主管G	分析評価グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/6	測定者			測定器名	β・γ電離箱		管理番号	F1-ICWBL-90
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	プラスチック・ポリ類		A	02	W	A	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2							m <sup>2</sup>			
3							m <sup>2</sup>			
4							m <sup>2</sup>			
5							m <sup>2</sup>			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1554
				2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月25日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2017年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		プラスチック・ポリ類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 12:15	4.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0002																																					
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2017年12月26日		(火)		11:00		承認		審査	作成																																			
	作業件名		発電所構内除草・除伐業務																																												
	発生場所		福島第一原子力発電所構外(西門周辺エリア)					2017/12/13		2017/12/13		2017/12/13																																			
	作業主管G		総務グループ			監理員				TEL																																					
	元請会社					担当者				TEL																																					
	線量測定年月日		2017/12/4		測定者				測定器名		FI-SC		管理番号	099																																	
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																
	1		伐採木(幹・根)			D 01 D A		7 m <sup>3</sup>		9 $\mu$ Sv/h		9 $\mu$ Sv/h		無																																	
	2							m <sup>3</sup>																																							
	3							m <sup>3</sup>																																							
4							m <sup>3</sup>																																								
5							m <sup>3</sup>																																								
2回運搬予定(1回目のみ立会希望)																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2017年12月26日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr> </tbody> </table>													線量測定内容					測定日	2017年12月26日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1					2					3					4				
線量測定内容																																															
測定日	2017年12月26日																																														
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																												
1																																															
2																																															
3																																															
4																																															
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																			
	1	1	伐採木(幹・根)				エリアG(幹・根)	2017/12/26 10:55	7 m <sup>3</sup>																																						
									m <sup>3</sup>																																						
									m <sup>3</sup>																																						
									m <sup>3</sup>																																						
									m <sup>3</sup>																																						
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																															
メ モ																																															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	仮)Gエリアタンク基礎他設置並びに関連除却								
	発生場所	G1タンク盛土上					2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-70	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	金属ガラ		B	01	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2							m <sup>3</sup>			
3							m <sup>3</sup>			
4							m <sup>3</sup>			
5							m <sup>3</sup>			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1556
				2017/12/15
調整後保管日時		2017年12月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑧	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2017/12/26 8:35	2 m <sup>3</sup>			1
	1	2	金属ガラ⑦	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2017/12/26 8:40	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		状 態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013201 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	11:30		承認	審査	作成				
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事											
	発生場所	BCヤード						2017/12/20	2017/12/20	2017/12/20			
	作業主管G	3号機建築グループ				監理員	TEL						
	元請会社					担当者	TEL						
	線量測定年月日	2017/12/12	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-361			
	No.	保管物名				※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	金属がら				B	01	D	B	0.3 m <sup>2</sup>	0.3 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.6 mSv/h
2	土砂類				B	02	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.15 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.3 mSv/h
3	難燃物その他				C	04	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.15 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.3 mSv/h
4	可燃物その他				A	04	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.15 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.3 mSv/h
5									m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ※ 1. 金属がら 2. 5m以上の為、 Yへの廃棄をお願い致します。													

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2017	—	12	—	1558	2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月26日		11:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2017年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属がら	5 μSv/h	100 μSv/h	220 μSv/h	エリアE1	2017/12/26 11:10	0.3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	土砂類	5 μSv/h	40 μSv/h	170 μSv/h	エリアX	2017/12/26 11:10	0.1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	難燃物その他	5 μSv/h	100 μSv/h	450 μSv/h	エリアX	2017/12/26 11:10	0.1 m <sup>2</sup>			1
	4	1	可燃物その他	5 μSv/h	30 μSv/h	200 μSv/h	エリアX	2017/12/26 11:10	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥 W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月31日		(水)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F構内瓦礫保管										
	発生場所	エリアH						2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25		
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/21	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	55		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	木材			A	03	D	A	20 m <sup>3</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類			A	02	D	A	20 m <sup>3</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	
3	塩化ビニール類			B	05	D	A	20 m <sup>3</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	
4	ホース類			C	03	D	A	20 m <sup>3</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	
5	難燃物その他			C	04	D	A	70 m <sup>3</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1559
				2017/12/25
調整後保管日時		2017年12月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 8:30	72 m <sup>3</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 8:30	67 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月31日		(水)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F構内瓦礫保管									
	発生場所	エリアD(入退域建屋、免震棟)						2017/12/25	2017/12/25	2017/12/25	
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/21		測定者			測定器名	ICWBL			
				測定器名	ICWBL		管理番号	55			
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	可燃物その他	A	04	D	A	5 m <sup>3</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	
	2	不燃物その他	B	10	D	A	5 m <sup>3</sup>	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h	無	
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2017	—	12	—	1560
				2017/12/25
調整後保管日時		2017年12月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 10:30	5 m <sup>3</sup>			1
	2	1	不燃物その他	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 10:30	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月25日	(月)	8:00	承認	審査	作成
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事					
	発生場所	H5タンクエリア(GP-28 北東)					
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員	TEL			
	元請会社		担当者	TEL			
メ モ	線量測定年月日	2017/12/18	測定者		測定器名		管理番号
							1F-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			β・α 汚染の 有無
							β + γ 線量率
メ モ	1	可燃物その他	A	04	W	A	5 m <sup>3</sup>
	2						m <sup>3</sup>
	3						m <sup>3</sup>
	4						m <sup>3</sup>
	5						m <sup>3</sup>
回収 AM作業時間7:30~10:30							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	—	12	—	1042
				2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 9:05	2.8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴						
				A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日	(月)	9:00	承認	審査	作成
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事					
	発生場所	H5タンクエリア(GP-28 北東)			2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL		
	元請会社			担当者	TEL		
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者	測定器名		ICW-BL	管理番号
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量
					① ② ③		
	1	可燃物その他			A 04 W A		5 m <sup>3</sup>
	2						m <sup>3</sup>
	3						m <sup>3</sup>
	4						m <sup>3</sup>
	5						m <sup>3</sup>
	回収 AM作業時間7:30~10:30						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2017	—	12	—	1043
				2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 10:05	2.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	—	12	—	1044
				2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2017年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H5タンクエリア(GP-28 北東)							2017/12/19 2017/12/19 2017/12/19	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号 1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	可燃物その他			① A ② 04 ③ W A	5 m	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2					m				
	3					m				
4					m					
5					m					
回収 AM作業時間7:30~10:30										

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 10:30	3 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	—	12	—	1045
				2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H5タンクエリア(GP-28 北東)					2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	可燃物その他	A	04	W	A	5 m	20 μSv/h	30 μSv/h	無
	2						m			
	3						m			
4						m				
5						m				
回収 PM作業時間12:00~14:30										

線量測定内容				
測定日	2017年12月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 10:30	3 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H5タンクエリア(GP-28 北東)					2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	プラスチック・ポリ・ビニール類			A	04	W	A	5 m <sup>3</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無
2								m <sup>3</sup>			
3								m <sup>3</sup>			
4								m <sup>3</sup>			
5								m <sup>3</sup>			
メモ	回収 AM作業時間7:30~10:30										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	—	12	—	1046
				2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 8:30	2.3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	飯)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	H5タンクエリア(GP-28 北東)					2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者		測定器名	ICW-BL		管理番号	ICWBL-14	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02 W A	5 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無	
2					m <sup>2</sup>					
3					m <sup>2</sup>					
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
メ モ	回収 AM作業時間7:30~10:30									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	—	12	—	1047
				2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 8:45	1.7 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却									
	発生場所	H5タンクエリア(GP-28 北東)					2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員						
	元請会社				担当者						
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	プラスチック・ポリ・ビニール類			A	02	W	A	5 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無
2								m <sup>2</sup>			
3								m <sup>2</sup>			
4								m <sup>2</sup>			
5								m <sup>2</sup>			
メ モ	回収 AM作業時間7:30~10:30										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	—	12	—	1048
				2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2017年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 8:45	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不 燃 物		01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	C	難 燃 物		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐 採 木		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月26日		(火)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	仮)H5エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	H5タンクエリア(GP-28 北東)						2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	プラスチック・ホリ・ビニール類			① A ② 02 ③ W A	5 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無		
2					m <sup>2</sup>					
3					m <sup>2</sup>					
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
メモ	回収 PM作業時間12:00~14:30									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	-	12	-	1049
				2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2017年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 9:20	2.3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012312 - 0004

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)									
	発生場所	車両汚染検査場 (GT-22 南東)						2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19	
	作業主管G	放射線安全グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-123		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	パワーート(容器、パレット)			A	02	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h
2								m <sup>2</sup>			
3								m <sup>2</sup>			
4								m <sup>2</sup>			
5								m <sup>2</sup>			
回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	—	12	—	1050
				2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月25日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パワーート(容器、パレット) (→H)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/25 10:50	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
	③	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012312 - 0004

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	—	12	—	1051
				2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)								
	発生場所	車両汚染検査場 (GT-22 南東)						2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19
	作業主管G	放射線安全グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	パワートート(容器、パレット)	A	02	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	回収									

線量測定内容			
測定日	2017年12月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	パワートート(容器、パレット) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2017/12/25 10:50	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012312 - 0004

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2017年12月25日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)								
	発生場所	車輛汚染検査場 (GT-22 南東)					2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19	
	作業主管G	放射線安全グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-123	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	パワートート(容器、パレット)			A 02 D B	5 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2					m <sup>3</sup>					
3					m <sup>3</sup>					
4					m <sup>3</sup>					
5					m <sup>3</sup>					
メモ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2017	—	12	—	1052
				2017/12/20
調整後保管日時		2017年12月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2017年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パワートート(容器、パレット)(→H)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2017/12/26 10:15	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」